

地元で働く選択肢

新型コロナウイルス禍以降、地方での就職や移住を検討している人が増え、地方回帰が注目されています。市内にはどんな企業が活躍しているのか、インタビューを通じて紹介します！
創造都市課 ☎552-5106

人事担当者に聞きました！



左：総務部 人事課 主任 間瀬 翔俊さん

うちのアピールポイント！

週休二日制で年間休日122日と休みがしっかりあり、20歳以上には年3回自社のお酒を提供する配給酒という制度があります。仕事を何十年と積み重ね造りのプロとなるので、永年勤続表彰など長く勤めてもらう環境づくりにも力を入れています。いろんな種類のお酒の製造に関わるところも、長く続けられる理由の一つです。

求める人材はこんな人

酒造りは1人ではなく多くの人と関わり進めていく仕事なので、チームワークが一番大切だと思っており、それを大切に考えられる「明るく元気な方」が長く働けると思っています。もちろんお酒が好きという理由も向いていると思いますし、1から育てていく教育体制も整えています。興味のある方はぜひ、入社を考えていただければと思います。



黄桜株式会社 丹波工場
中西 駿太さん 19歳
勤務年数：2年目
出身：丹波篠山市
卒業校：篠山東雲高等学校出身(バレー部)

黄桜で働きたいと思ったキッカケ

私は東雲高校出身で、「日本酒プロジェクト」として自分たちで酒米を栽培し、地元の酒蔵と関わってきました。高校2年生のときに醸造家の道を考えるようになり、日本酒製造という特別な仕事に魅力を感じました。

ここで働くシアワセ

自分が製造に関わった日本酒を、祖父母や近所の知り合いに飲んでもらい「美味しい」と喜んでもらえることがうれしいです。私も今年の12月で20歳になるので、自分で作ったお酒を飲むのが楽しみです。

また、実家から通っているので、貯金がしやすいです。丹波篠山は大阪や三田市へのアクセスも良く、買い物も便利です。休日には海釣りを楽しんでリフレッシュしています。



現在の仕事内容

現在は、9月から始まる日本酒の仕込みに向けて、酒米を水に浸し、蒸し上げる原料処理作業を5人のチームで行っています。周りは、年上の方が多いのですが、皆さん親切に仕事を教えてくれるので、仕事に集中して取り組んでいます。入社2年目で、今は日本酒製造の全体的な流れを学んでおり、将来的には一人前の酒造りのプロをめざしています。

中西さんのある1日

- 7:50 出社
- 8:10 始業・ミーティング・作業現場のチェック
- 8:30 原料処理作業(日本酒の原料の米を蒸す作業など)
- 12:00 ランチ
- 13:00 午前中に使用した機材の洗浄など
- 15:00 次の日の作業の準備とデスクワーク
- 17:00 退社



黄桜株式会社 丹波工場

所在地：今田町本荘字堂ヶ谷1-19
TEL：597-3161
事業内容：日本酒・クラフトビール・ウイスキー・焼酎・みりんなど製造販売



就職を考えている方へメッセージ

10代で酒造メーカーへの就職となると、お酒を飲めない年齢なのでイメージしづらいかもしれませんが、一歩踏み出せば日本人として誇りが持てる非常に魅力的な仕事です。この記事を読んで、日本酒作りに興味を持ってもらえたらうれしいです。



第36回 丹波たんなん味覚まつり



丹南地区特産店
天内芋、丹波篠山茶、住山ごぼうなど丹南地区ならではの特産物を販売

食の市
丹波篠山の食材を使用したグルメコーナー

農産市
農都丹波篠山の旬の農産物販売

日時 10月19日(土) 10:00～15:00
場所 四季の森生涯学習センター(屋外)
丹波たんなん味覚まつり実行委員会
☎594-1131

【ステージイベント】吹奏楽演奏/キッズダンス/フラダンス
【子どもの広場】ストラックアウト/サイコロゲーム/自衛隊車両展示
【わくわく抽選会(数量限定・先着順・中学生以下対象)】など
※駐車場には限りがあります。なるべく公共交通機関をご利用ください。

第28回 味覚フェア楽市楽座



時間 10月13日(日) 10:30～16:00
場所 草山温泉やまもりの湯周辺
黒大豆枝豆や丹波栗などの地域の特産をはじめ、名物にしき鍋(しし汁)も出店。各種イベントを開催。
味覚フェア楽市楽座実行委員会
☎090-3674-8871

第21回 城東味まつり



時間 10月19日(土)・20日(日) 10:00～16:00
場所 城東公民館周辺
黒豆の元祖「波部黒大豆」発祥の地。黒枝豆のほか、秋の優れた農産物や縁起物「こがねもち(焼き餅)」、栗・黒豆ポン菓子などうまいもん満載！
城東味まつり実行委員会 ☎556-3111

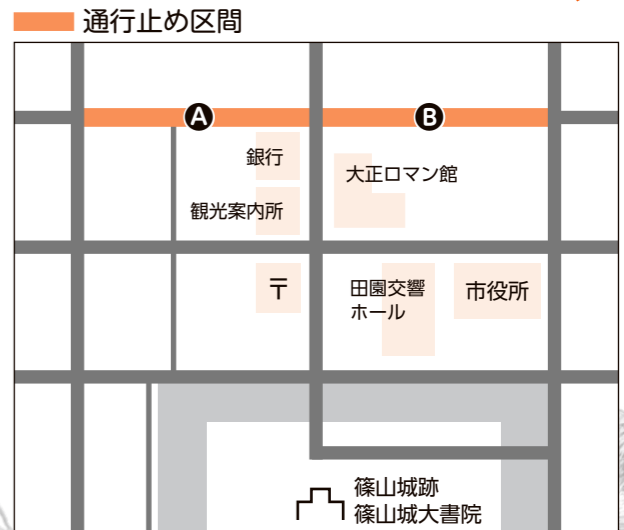
10月 秋の城下町地区交通規制のお知らせ

秋季の城下町地区における観光客の増加を受けて、歩行者の安全確保のため車両の通行止めを行います。
商工観光課 ☎552-6907

期間 A・B [5日(土)・6日(日)・12日(土)・13日(日)・14日(月・祝)・19日(土)・20日(日)]
Bのみ [26日(土)・27日(日)]

時間 10:00～16:00
※10月19日(土)・20日(日)は春日神社例祭のため、交通規制の区画・時間が異なりますのでご注意ください。

迂回路はこちら▼





夢へのかけはし

教育やスポーツ、文化・芸術などの分野で活躍する若者たちを紹介します。

篠山産業高等学校が上位を独占！農業鑑定競技で全国大会へ出場



平野陸さん、板谷由衣さん、大野美紗希さん (左から)

7月23日に播磨農業高校で「第72回兵庫県学校農業クラブ連盟大会が開催されました。農業鑑定競技の分野[生活]で、篠山産業高等学校の農と食科の板谷由衣さん(2年)がトップの最優秀賞、平野陸さん(3年)、大野美紗希さん(3年)が優秀賞を獲得。産高が上位を独占する快挙を達成し、10月23日・24日に岩手県で開催する全国大会への出場を決めました。

大会では家庭・食品・衣類などの[生活]分野の問題が40問出題されます。1問につき20秒(計算問題は40秒)というわずかな時間で鑑定・判断します。「農業高校の甲子園」と呼ばれる大会に向けて、板谷さんは「ケアレスミスを減らし、県大会よりさらにレベルアップをし、入賞をめざしてがんばります」、平野さんは「昨年に続く全国大会への出場ですが、今年こそは入賞をめざします」、大野さんは「苦手な計算問題を克服し、上位に食い込めるようがんばります」と抱負を語りました。

大学連携でんしよばと

問い合わせ
神戸大学・丹波篠山市農村イノベーションラボ ☎506-6628
丹波篠山フィールドステーション ☎506-2366

ササる!協力隊



元協力隊、今何してる？

地域おこし協力隊1期生 **長井 拓馬 さん**



2014年から3年間、西紀北地区で地域おこし協力隊(半学半域)として活動。失われた生物多様性の再生に向けて、「まずは地域の人たちが地元でどんな生き物が生息しているのかを知らないといけない」という思いから、生きものを見るツアーなどに取組まれました。

Interview

Q. 現在取り組まれていることは何ですか？

A. 現在は西野々地区で「ノウカ、ナガイ」の代表として、「農業」「狩猟」「木こり」をはじめとした一次産業に取り組み、その中で生まれた多くの人とのかかわりを大切にしながら、農家を営んでいます。「ノウカ、ナガイ」では、自分たちが「面白そう」と思ったスーパーに並ばないような野菜などを栽培し、お客さんに提供しています。野菜の個性や、農地周りの生き物の多様性を重視する一方、固定種・在来種にもこだわっています。栽培が難しいものもありますが、食べて「おいしい!」と感じられること、お客さんにシェアできることを楽しみに頑張っています。神戸大学との連携は現在も続き、大学時代にお世話になった教授に声を掛けられ、「神戸大学マルシェ」にお米を出荷しました。今後は野菜も出荷する予定です。



「ノウカ、ナガイ」ホームページ



ふるさといちばん

市長の **HOT** と一く

丹波篠山の時代をつくろう

混乱、停滞を収束し 兵庫県政の前進を!

一、兵庫県市長会から 知事へ要望

実は、私は本年4月から兵庫県の市長会の会長を務めています。会長の仕事は県内各市からの要望をとりまとめ、国や県につなぐことが主なものですが、今年は齋藤元彦知事についての内部告発問題の件で市長会が動いたことから、急にニュースに取り上げられました。

8月23日、市長会から県政の混乱、停滞の収束に向けて最善の努力をしていただくよう、知事へ要望しました。ところがそ

二、期待があったのに

の後、県議会の百条委員会の審理が進むにつれ、次々に知事にまつわるいろいろなことが出てきて、県政は益々混乱し、信頼を日に日に失っているように思います。この広報紙が市民の皆さんに届くころには一体どうなっているのやら予想もできません。

3年前、齋藤知事が就任され、これまでの貝原俊民さん、井戸敏三さんに続き、尊敬される県政のリーダーとしての活

三、知事のあり方

職員への指導については、私はあまりに個人的な問題が多いと感じています。出張先の鏡、着替えのための個室、エレベーターの待機、県事業の広告に自分の写真や名前を入れることなどを当たり前のように思っており、知事が特別扱いされることを当たり前のように思っており、貝原さん、井戸さんも厳しいところがあったと聞いたことがありますが、それは仕事内容のことで話が違います。贈答品についても、個人で受け取ることは問題がありま

すし、高額なものならなおさらです。

四、公益通報

告発文書を公益通報者保護の対象とせず、十分な調査も尽くさず、前県民局長を懲戒処分にしたことについては、多くの市長からも不適切であるとの指摘がありました。

今まではいわゆる内部公益通報や告発が組織の人間関係を悪化する組織への裏切りである、と否定的に捉えられてきました。平成18年に公益通報者保護法が施行され、公益の保護、社会正義の実現のための行動と肯定的に捉えられつつあること、法令順守の確保にどうして有効な手段であることが認められるようになっていきます。

丹波篠山市でも、平成23年4月からこの制度を取り入れています。

五、誇りある県政を!

今日まで、歴代の知事、県議会議員、県職員、県民を中心に進められてきた震災からの復興「美しい兵庫」「自然との共生」「参画と協働」など、兵庫の誇り高き歩みを止めることがないよう、兵庫県政の前進を願うものです。

今月のこんにちは市長室

市長が市政に対してのご意見やご要望をお聴きする場として開催しています。事前の申し込みは不要で、懇談会または1人15分程度の面談です。

とき 10月10日(木) 16:00~19:00

ところ 本庁舎3階

問い合わせ 秘書広報課 ☎552-5109

